

令和8年度（令和8年10月入学含む）
大学院博士前期課程入学者選抜学力試験（日本語）

令和8年2月4日

受験番号		氏名	
------	--	----	--

※解答はこの問題用紙に記入すること。書ききれない場合は、裏面に記入すること。

I 解答欄の（ ）の単語を、文に合うように形を変えて、_____の上書きなさい。（配点10点）

① 弟は一度（言い出す）言い出した_____ら、（絶対だ）絶対に_____意思を曲げない。

② （留学する）留学する_____予定なら、異文化理解に対する準備を（怠る）怠らない_____ことだ。

③ 彼女は最近、仕事が（忙しい）忙しくて_____、食事をする暇がない。

動詞の活用の基本的な理解を問う。

II _____に表現を補い、文を完成させなさい。（配点20点）

（以下、解答例）

① 科学技術が社会を便利にする一方で、さまざまな問題も起こっている_____。

② 努力が必ず報われるとは限らないが、努力すること自体が重要なこともある_____。

③ 説明を聞いただけでは理解できず、何度も質問をする必要があった_____。

④ 価値観は人それぞれだとはいえ、誰でも守るべきルールも存在する_____。

⑤ 予想外の結果ではあったものの、全体的には満足している_____。

日本語の文法の基本的な理解を問う。

*採点	
-----	--

令和8年度（令和8年10月入学含む）
大学院博士前期課程入学者選抜学力試験問題（日本語）

令和8年2月4日

受験番号		氏名	
------	--	----	--

※解答はこの問題用紙に記入すること。

Ⅲ 次の文章を読んで、1～3の質問に答えなさい。

東京都港区にあるオフィスビルの一室に設置されたクリーンルームでは、人の細胞が「印刷」されている。スタートアップ会社のサイフューズはバイオ3Dプリンターで血管や臓器をつくる。

「将来は新しい臓器を作製・保管し、取り換えられるようになっていても不思議ではない」。サイフューズの三條真弘氏は予測する。人類の平均寿命は医療技術の発展や生活環境の改善で、延びてきた。それでも寿命の限界は120歳程度だといわれてきた。老化抑制を研究する東京理科大の早野元詞准教授は「技術の進展で壁を越える可能性は高まっている」とみる。

2010年以降に生まれたα（アルファ）世代は、人類が老いを制御する「不老社会」を生きる初めての世代になる。肉体の限界を突破するサイボーグの時代も現実となるかもしれない。日本経済新聞がα世代1100人に何歳まで生きたいかを尋ねたところ、現在とほぼ同じ100歳以下と答えた人が7割を占めた。α世代はただ長く生きることの魅力を感じていない。

人類は「不老」を追い求めてきた。長く生きれば、家族や友人との時間を多く楽しめる。研究や創作に使う時間も増える。だが、長すぎる人生は幸せなのか。

今の寿命を前提とした社会制度は根本から見直さざるを得ない。皆が長生きするようになれば、人口の増加が進み、食料が足りなくなる恐れもある。現在の年金制度は男性の平均寿命が66歳の時につくられた。現役世代の負担が今のままなら受け取れる年金も大幅に減っていく。

国連によるとα世代が高齢者になる2100年には日本人の女性の平均寿命は97歳、男性は91歳と今より約10歳ずつ延びる。米欧研究機関によれば2007年に日本で生まれた子の半数は107歳より長く生きる。関東学院大学の島澤諭教授は「寿命が延びれば、その分働け続けないと生活できなくなる」と語る。

幸せに長く生きるには健康寿命を延ばすことが鍵を握る。今は平均寿命と健康寿命の差が8～12年あり、医療財政の圧迫要因にもなっている。

老化の原因を除去せよ——。25年秋、順天堂大学は50人の患者を対象に、老化細胞を薬で取り除く臨床研究を始めた。糖尿病など多くの病気に関わるとされる老化細胞を除去できれば、健康に長生きできる未来図が描ける。

健康の経済効果は大きい。英オックスフォード大学などの研究者の分析によると、先進国で健康寿命が1年延びることの経済的な価値は国内総生産（GDP）4～5%分に相当する。

不老社会の恩恵をα世代が享受し、安心して幸せに生きるためには、今から改革に取り組む覚悟が私たち大人に求められている。

（日経電子版 2026年1月9日付配信記事 「老いを制御、長すぎる人生は幸せか α世代の過半は寿命100歳超に」を一部改変して作成）

日本語の漢字の読みの理解、および長文読解力を測る。

1. 本文で下線が引いてある漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

(配点 10 点)

①		②		③		④		⑤	
細	胞	寿	命	限	界	抑	制	世	代
さい	ぼう	じゅ	みょう	げん	かい	よく	せい	せ	だい

2. 以下の①～⑩について、本文の内容と合うものには (○)、合わないものには (×) を書きなさい。

(配点 20 点)

- ① 港区のオフィスビルでは、バイオ 3D プリンターを使って人の細胞が印刷されている。 (○)
- ② サイフューズは現在すでに人間の臓器移植を一般向けに実施している。 (×)
- ③ 人類の寿命の限界は、今後も必ず 120 歳を超えないと断定されている。 (×)
- ④ α 世代は、人類が老いを制御する「不老社会」を生きる最初の世代になるとされている。 (○)
- ⑤ 日本経済新聞の調査では、α 世代の多くが 120 歳以上まで生きたいと考えている。 (×)
- ⑥ 現在の社会制度は、寿命が大きく延びることを前提として設計されている。 (×)
- ⑦ 国連の予測では、2100 年には日本人男性より女性の平均寿命の方が長い。 (○)
- ⑧ 健康寿命と平均寿命の差は、医療財政を圧迫する要因の一つになっている。 (○)
- ⑨ 健康寿命が 1 年延びることによる経済的価値は、GDP の 1% 未満とされている。 (×)
- ⑩ 多くの病気に関わるとされる老化細胞を除去できれば、健康寿命が延びると考えられる。 (○)

3. 本文の波線部「不老社会の恩恵を α 世代が享受し、安心して幸せに生きるためには、今から改革に取り組む覚悟が私たち大人に求められている」と述べられる理由について、本文中の言葉を使い、具体的に 50 字以上 60 字以内でまとめて書きなさい。

(配点 10 点)

(解答例)

皆	が	長	生	き	す	れ	ば	、	食	料	が	足	り	な	く	な	っ	た	り
、	現	在	の	年	金	制	度	で	受	け	取	れ	る	年	金	の	額	も	大
幅	に	減	っ	て	し	ま	っ	た	り	す	る	か	ら	。					

* 採 点	
-------------	--

令和8年度（令和8年4月入学含む）
大学院博士前期課程入学者選抜学力試験問題（日本語）

令和8年2月4日

受験番号		氏名	
------	--	----	--

※解答はこの問題用紙に記入すること。書ききれない場合は、裏面に記入すること。

Ⅳ 次の文を読んで、指示にしたがって文章を書きなさい。

近年、ChatGPT などの生成 AI が急速に浸透し、さまざまな場面で活用されている。一方で、大学など教育機関においては、学生の不適切な AI 使用に対する対応など、AI の適切な取り扱いを検討することが重要となっている。以下では、あなたが考える適切な AI 使用を説明し（2 文以上）、AI を活用することの利点や注意点について考えを述べ（2 文以上）、その上で、大学に求められる対応について、あなたの考えを簡単に説明しなさい。文章は「です・ます」を使わない書き言葉の文体で、論文やレポートに適した語や表現を使って書きなさい。なお、本問では、生成 AI 利用に対する考えの妥当性は問わないものとする。（配点 30 点）

日本語による文章作成能力を測る。以下の4点を採点の主な基準とする。

- 1) 意味の通じる文が書けているか。
- 2) 文法的に正しい文が書けているか。
- 3) 論理的な文章展開ができているか。
- 4) 適切な文体が使えているか。

* 採点	
---------	--